C & U
CREATIVE & UNIQUE

MICRONIX

ZigBeeモジュールの電波法及びIEEE簡易試験

◇シグナル・リアルタイムスペクトラムアナライザを活用した、電波法及びIEEEの簡易試験を行うシステムです。

［アプリケーション　～*Application*～］

シグナル・リアルタイムスペクトラムアナライザ（MSA500シリーズ）と電波暗箱を組み合わせて、アンテナ一体型設備の技術基準適合試験（技適）およびIEEE試験等のRF送信特性試験の簡易測定を行うことができます。用途や仕様を限定的にすることで、安価にシステムアップが可能です。
ZigBeeの物理層試験は、技術基準適合証明（技適）とIEEE802.15.4-2003の2つがあります。

［ソリューション　～*Solution*～］

■ 技適の試験内容（参考）

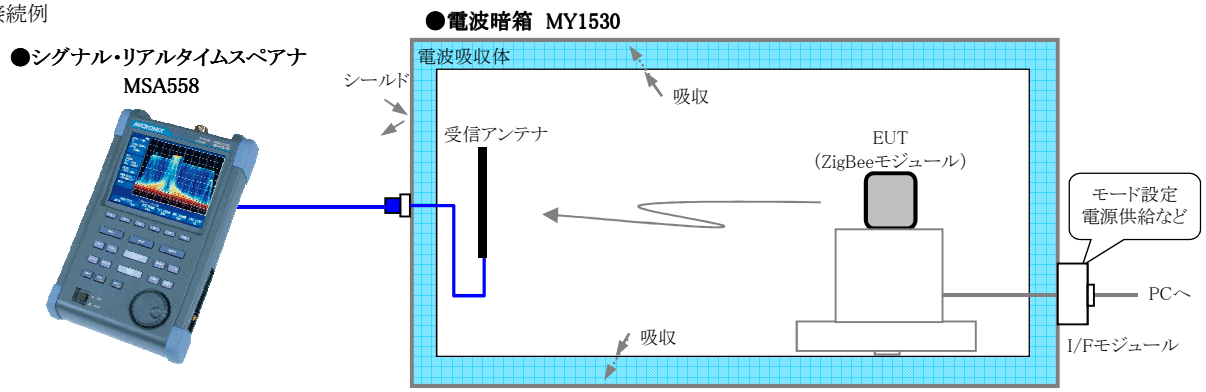
1. 周波数の偏差　2. 占有周波数帯幅および拡散帯域幅　3. スプリアス発射または不要発射の強度　4. 空中線電力の偏差
5. 副次的に発する電波などの限度　6. 送信空中線の主輻射の角度幅　7. 混信防止機能

■ IEEEの試験内容（参考）

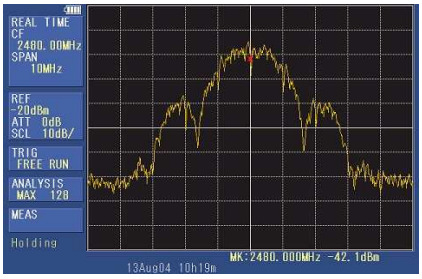
1. スペクトラムマスク試験　2. EVM（エラーベクトル）　3. 搬送波の周波数エラー　4. スプリアス発射および不要発射の強度
5. 空中線電力の偏差

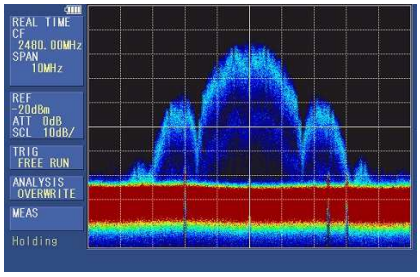
注意※ MSA500シリーズには変調解析機能は搭載されておりません。

■ 接続例



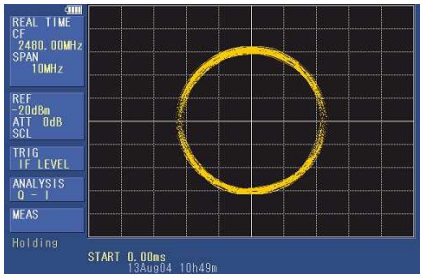
■ Ch15（2480MHz）の参考例



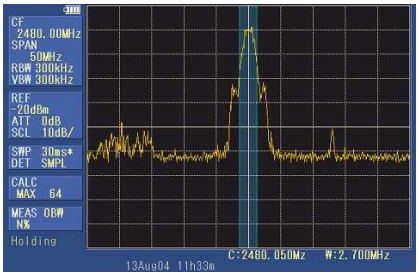


"スプリアス発射または不要発射の強度"と"副次的に発する電波などの限度"については、12.5GHz以上のスペアナが必要になるが、3倍波（7.4GHz）までの限定的な使い方としては活用できる。

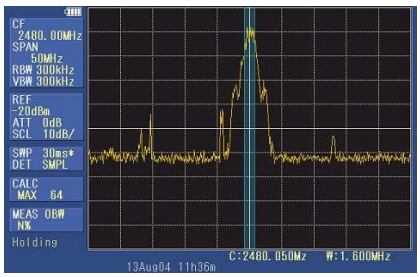
※MSA558の測定周波数範囲：20kHz～8.5GHz



変調解析機能は非搭載な為、"EVM"及び"搬送波周波数エラー"は測定できないが、Offset-QPSK変調の生のコンスタレーション波形を観測することは出来る。



電波法の測定で必要な"占有周波数帯幅"の測定波形例。



電波法の測定で必要な"拡散帯域幅"の測定波形例。

［システム構成　～*System constitution*～］

1. シグナル・リアルタイムスペアナ　/　MSA558
2. 電波暗箱 一式　/　MY1530＋IFモジュール
※. その他、アンテナ、ケーブル及びアダプタ類

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。
※価格は全て税抜き表示です。

2013/8

マイクロニクス株式会社
〒193-0934　東京都八王子市小比企町2987-2
TEL. 042-637-3667　FAX. 042-637-0227
URL　http://www.micronix-jp.com
E-mail　micronix_j@micronix-jp.com